

実習指導者研修会

実習指導計画（演習Ⅰ）



2022年8月17日

日本赤十字看護大学・大学院国際保健助産学 講師 稲田千晴

本日の学習項目

1. 実習指導者の役割
2. 実習要項の役割
3. 実践場面の教材化
4. 実習指導案の実際～計画立案
5. グループワーク～アイスブレイク

本日の学習項目

1. 実習指導者の役割
2. 実習要項の役割
3. 実践場面の教材化
4. 実習指導案の実際～計画立案
5. グループワーク～アイスブレイク

実習指導者の役割 ～モデリングとファシリテーター～



■ クライアントの安全、看護の質の保証

■ 指導者の「看護」を言語化する

■ 学生の経験を「看護」として意味づけることを助ける

モデリング～社会的学習理論（Bandura A,1971）

人は自らの体験だけでなく、他者の行動を観察することでも学習することができる
→初心者にとっては、実習指導者は身近なモデル

注意過程

- 対象とそのモデルの特徴を選んで観察

保持過程

- 観察したモデルの抽象化や模倣を繰り返す

再生過程

- 記憶に残したモデルを実際に行う。保持した記憶との違いを調整

動機付け過程

- 学習した行動を続けることの動機付け

ファシリテーターのスキル

場のデザイン

どんな目的でどのようにすすめるのか。
話しやすい雰囲気

対人関係

意見や思いを引き出す
良く聴く、良く観る、良く反応する

合意形成

プロセスを振り返る
意思決定の方法をきめる
対立を解消する



構造化

わかりやすく整理する
見える化する

本日の学習項目

1. 実習指導者の役割
2. 実習要項の役割
3. 実践場面の教材化
4. 実習指導案の実際～計画立案
5. グループワーク～アイスブレイク

実習要項～どんな看護師を育てたいかを知る

目的：妊娠・出産・産褥期にある女性と新生児、夫/パートナーとその健康課題を、ライフサイクルの視点と社会生活を営む人としての視点から理解し、対象者の価値観を尊重し、かつ安全なケアの保証をするとともに、セルフケア能力を高める援助を学ぶ。



目標：

1. ライフサイクルの視点から周産期を位置づけ、対象者をとることができる。
2. 周産期における対象者の健康レベルを身体的・心理的・発達の・社会文化的な特徴を踏まえて明確にし、健康の保持・増進を促すように関わることができる。
3. 対象者の価値観を尊重し、安全で納得のいく出産体験の保証や、対象が新しい生命を家族の一員として迎え、慈しみ育てられる関わりを学ぶことができる・・・などなど

本日の学習項目

1. 実習指導者の役割
2. 実習要項の役割
3. 実践場面の教材化
4. 実習指導案の実際～計画立案
5. グループワーク～アイスブレイク

教材化～素材（現象）を教材へ

初産の産後 3 日目

学生の教育課程や学習課題に照らして、学生との共同作業を通して、素材の中から学習内容を選択する

母親が授乳の準備をしているが、
赤ちゃんはイライラしてぐずっている。

「昨日まではうまく行ってたのになんでだろう」と母親はぶつぶつ言いながら、児は少しイライラしながらも乳房に吸着をしようとしている。

乳房が張ってきて児をうまく乳房に吸着させることができない様子。

母親は何度も失敗したが、最終的には自分で児を乳房に吸着させることができた。それを指導者は学生とそばで静かに見守っていた。



教材化～学生の考えを共有する

【ケア計画を熱心に立案してきて、積極的な学生】

なぜ、看護師は何もしてあげないんだろう。
母親は困っていただろうに、なぜ「ケア」（助けを）しないのか？



学生さんは、このケアをどう感じたかしら？
対象理解からケアの根拠を意味づけられるかしら？

教材化～行為の意図の言語化 1



初産の産後3日目

母親が授乳の準備をしているが、
赤ちゃんはイライラしてぐずっ

「昨日まではうまく行っていたのに、
がら、児は少しイライラしながら
乳房が張ってきて児をうまく乳房は

母親は何度も失敗したが、最終的には授乳ができた。それを指導者は学生とそばで静かに見守っていた。

【身体的】妊娠分娩からの身体回復と、乳汁生成が盛んになる時期

【心理的】母親として児の世話に関心を持って自ら取り組み始める時期。子どもとの相互作用を通して自らの母親役割を試行錯誤し始める時期

【社会的】4～5日の産後の入院期間でありセルフケアの能力を高める時期

＊産褥期の経過の理解

教材化～行為の意図の言語化 2



初産の産後 3 日目

母親が授乳の準備をしているが、
赤ちゃんはイライラしてぐずっている。

「昨日まではうまく行っていたのになんでだろう」と
母親はぶつぶつ言いながら、児は少しイライラしな
がらも乳房に吸着をしようとしている。

乳房が張ってきて児をうまく乳房に吸着させること
ができない様子。

出産後72時間ほどで乳汁生成Ⅱ期
となり、乳汁生成量が一気に増え
る。それに伴い、乳房全体が充満
してくる。そのため一時的に児に
乳房を深く捉えさせることが難し
くなることもある。児も順調な胎
外生活の適応段階であり、予備力
も十分にあり、少しの時間の試行
錯誤には付き合える状況である。

母親は何度も失敗したが、最終的には自
ら乳房に吸着させることができた。それを
とそばで静かに見守っていた。

*** 母子の生理的变化が「順調な産褥・新生児の経過」
であるかのアセスメント**

教材化～行為の意図の言語化 3



初産の産後 3 日目

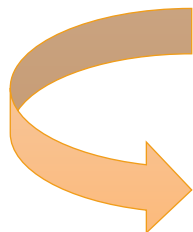
母親が授乳の準備をしているが、
赤ちゃんはイライラしてぐずっている。

「昨日まではうまく行ってたのになんでだ
がら、児は少しイライラしながらも乳房に吸

「母親」は生理的変化の課題に直面し、試
行錯誤をしてなんとか育児行動を遂行しよ
うとしている。自ら児に合わせて工夫しな
がら、時間はかかったが課題を乗り越える
ことができる。

乳房が張ってきて児をうまく乳房に吸着させることができない様子。

**母親は何度も失敗したが、最終的には自分で児を乳房に吸着させることが
できた。**それを指導者は学生とそばで静かに見守っていた。



*** 母親役割獲得が進んでいるかの
アセスメント**

教材化～行為の意図の言語化 4



初産の産後 3 日目

母親が授乳の準備をしているが、
赤ちゃんはイライラしてぐずっている。

「昨日まではうまく行ってたのになんでだろ」
がら、児は少しイライラしながらも乳房に
乳房が張ってきて児をうまく乳房に吸着させることができない様子。
母親は何度も失敗したが、最終的には自分で児を乳房に吸着させることが
できた。

それを指導者は学生と静かに見守っていた。

「母親」は様々な課題を子どもと共に乗り越える能力が必要である。支援者はそばにいて母親自身の頑張りを支えつつ、自分で解決できる成功体験から、自己効力感を高め、「この子にあった」育児を見出していくことを支える。

*** 母親としての自己を高める支援**

まとめ～学生と生み出す教材からの学び

何もしないで見守る
ことも、母子が自立
していくための看護
の一つなんだあ



学生が自分で経験した
事実あるいは現象の中
から、典型的で具体的
なものを素材として切
り取り、学生との対話
により教材化して教授
－学習活動を展開して
いく。

本日の学習項目

1. 実習指導者の役割
2. 実習要項の役割
3. 実践場面の教材化
4. 実習指導案の実際～計画立案
5. グループワーク～アイスブレイク

実習指導案の実際

1. 週案：週単位の指導計画

週ごとの指導目標や、主要な指導内容を計画する。

- ・ 実習開始前に計画しておくことが可能。事前に計画しておくことにより、指導者としての準備ができる。
- ・ 計画的な指導により、実習のねらいを意識した指導の展開が可能となる。

2. 日案：1日毎の指導計画

個々の学生に即した内容を検討する。

- ・ 週の指導目標から、その日に学習させたい事柄を表現する。
- ・ 指導する内容を具体的に抽出（何を学ばせたいか）し、指導内容に適した指導方法、指導場面、指導時間を考えて作成する。

＊様式は決まったものではない。自分が使いやすいものを。

実習指導案の位置付け

実習目標

周産期における対象者の健康レベルを身体的・心理的・発達の・社会文化的特徴を踏まえて明確にする

周産期における対象理解の上で、その特徴を踏まえて健康の保持・増進を促すように関わることができる。

学習活動

新生児の
全身観察

教授活動

- ・ 知識・理解の到達の確認
- ・ 基本的な技術習得の確認
- ・ 助言やヒントの提示

目標の達成と評価
発展的な学習の推進

実習指導計画～指導目標

■この実習を通して、実習目標に合わせて到達して欲しい事柄を明らかにする

指導目標

①どんな内容を

②どのようにして

対象者の価値観を尊重し、周産期にある母子と家族の、身体的・心理的・発達の・社会文化的な特徴を踏まえて、健康の保持・増進や役割獲得のためのかわりを学ぶことができる

③どのくらい

④どんな能力を（認知・理解）

実習指導計画（週案・日案）

今週の指導目標

- 母子に行われる健診やケアを通して、病棟の特殊性や対象者の生活の場を理解することが出来る
- 周産期の母子と家族を理解するための情報収集ができる。
- 対象者の特徴を理解し、母子と家族の個別に応じた看護課題（看護目標）・看護目標・1日の行動計画を立てることができる
- 助言を得たり努力を認められることで、学習意欲をさらに高めることができる

実習指導計画（週案）

週	指導目標	指導内容	指導方法・留意点
1 週目	1. 母子に行われる健診やケアを通して、病棟の特殊性や対象者の生活の場について説明することが出来る 2. 周産期の母子と家族を理解するための情報収集ができる。 ・カルテから情報を得ることができる ・医師や助産師から情報を得ることができる ・対象者本人や家族から情報を得ることができる	(1)実習病棟の特徴 (2)入院患者の特徴 (3)病棟の1日の流れ etc. (1)対象者の背景や特徴 (2)妊娠期から現在までの経過 (3)現在の母子の経過 (4)必要な治療、支援の方針 (5)退院後の支援の方針	①オリエンテーション後、場所・物品・病棟スケジュールなどを説明し、把握できたかを確認する ①カルテの見方を説明 ②母子の経過についてスタッフから説明を受けられるように調整し、学生が質問できるような場を設ける ③対象者に学生を紹介し、和む場をつくる etc.

実習指導計画（週案つづき）

週	指導目標	指導内容	指導方法・留意点
1 週目	3. その日の対象者の状態に合わせた看護課題（看護目標）・看護目標・1日の行動計画を立てることができる 4. 助言を得たり努力を認められることで、学習意欲をさらに高めることができる	(1)昨日までの情報をまとめられる (2)現在の看護課題の優先順位に基づいた看護に気づける ．．．．	①学生が立てた看護課題（看護問題）・看護目標を聞き、その日の対象者の状態に沿っているかどうかの視点から助言する ②学生が得ている情報や、学生が理解している対象者の状態を確認し、情報を補足したり、解説したりする etc.

実習指導計画(日案)

母親は産後2日目、新生児は日齢2の初産の母子の受け持ち1日目。新生児の観察を初めて行う。

指導者の方針・目標

その日の患者の状態に合わせた看護課題（看護目標）・看護目標・1日の行動計画を立てることができる

指導内容・ 指導方法	実際の状況・場面 (行動や反応など)	計画の修正	指導の実際
学生が立てた看護課題・看護目標を聞き、まずは新生児から正確に情報収集ができるか、 (呼吸・循環の確立、生理的体重減少の許容範囲、生理的黄疸のカットオフ値などに沿っているかどうか)の視点から助言する	学生：児の体重減少が生理的な範囲内で止まることを看護課題に挙げました。 看護目標は、直接授乳で十分に母乳が飲めること。 指導者：・・・	学生が児の日齢2日目に生理的体重減少について着目できている点は良い評価を伝える。 日齢2は、他に胎外生活の適応として呼吸・循環の確立の評価も優先順位として高いこと、生理的体重減少については、授乳状況と合わせた予測が必要な点を助言する。	生理的体重減少に着目したのはとても良い視点ですね。 新生児循環への移行の状態はどうだろう？そろそろ黄疸も気になり始める時期と思うよ。体重は明日どんな経過になりそう？

実習指導案の作成

実習指導案に取り入れたい学生の学びを支援する関わり

「モデリング」と「ファシリテーターのスキル」をぜひ

- ① 学生が「観ているもの」に関心を持つ
- ② 私のケアの場面を見せる
- ③ 話しやすい雰囲気、質問の工夫
- ④ 学生の考えをたくさん引き出す、受け止める
- ⑤ 見える化し、根拠に基づいて整理する
- ⑥ 対立を解消し、まとめる
- ⑦ ともに対象者への良いケアを決定していく

右脳

左脳

指導の評価⇒学生の変化に気づき、成長と一緒に感じることができているか

参考文献

藤岡完治・安酸史子・村島さい子・中津川順子(2001). 学生とともに創る臨床実習ワークブック第2版. 医学書院.

金井壽宏・楠見隆編(2012). 実践知. 斐閣.

松木光子(2010). 看護学臨地実習ハンドブックー基本的考え方とすすめ方ー第4版. 金芳堂.

佐藤みつ子・宇佐美千恵子・青木康子(2009). 看護教育における授業設計第4版. 医学書院.

舟島なをみ監修(2013). 看護学教育における授業展開. 医学書院

Bandura A (1971). Social Learning Theory. General Learning Press

堀公俊 (2018). ファシリテーション入門第2版. 日経文庫

本日の学習項目

1. 実習指導者の役割
2. 実習要項の役割
3. 実践場面の教材化
4. 実習指導案の実際～計画立案
5. グループワーク～アイスブレイク

グループワーク① ～課題～

1. 自己紹介を兼ねて、施設（部署）の実習受け入れ状況について共有してみましょう

受け持ち患者の選定や実習物品の準備

スタッフ間の協力や学生の情報共有の方法

学生の行動計画や報告の聞き方、ケアへの介入

学生指導をする上でのご自身の課題や目標

etc.

2. 事例の選択をしておきましょう

午後は指導計画を実際に作成してみます

チームで「話し合いの方法」についても話し合っておきましょう。

時間になったらブレイクアウトルームが終了しますので、そのまま休憩をお願いします。

グループワーク① ～留意点～

* 今回のグループメンバーは原則 1 月まで同じです。グループからぜひチームになってください！

* グループ内での資料の共有は、可能です。
各グループで、zoomホワイトボード、Google document、Office Hack、Jumbordなど利用をしていただいて構いません（ファシリテーターから使用ツールの指示がある場合もあります）。

* 施設情報、個人情報の取り扱いについては十分にご配慮をお願いします。（グループワークの中だけでの共有をお約束ください）